

## 片山式 切臍刀

### 【禁忌・禁止】

- 1)本品の刃先を、製造メーカーで再研磨する以外の二次的加工(改造)を絶対にしないで下さい。〔破損等の原因となります。〕
- 2)本品を清掃する際には、必ず中性洗剤をご使用下さい。〔酸性、又はアルカリ性の洗剤は、本品を腐蝕させるおそれがあります。〕

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 材質:ステンレス鋼

#### 2. 形状又は構造

カタログNo.: 2146-10 片山式 切臍刀(全長 13 cm)



#### 3. 原理

先端の刃で組織を切断・切離する。

### 【使用目的又は効果】

本品は、筋腱などを切断・切離するために用いる。

### 【使用方法等】

1)本品は未滅菌であるため、使用に際しては必ず洗浄し、下記の条件以上又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。

滅菌方法:高圧蒸気滅菌

滅菌条件:温度 121℃、時間 20 分以上

2)使用にあたってはハンドルを確実に把持し、刃先を手元に引くように慎重に操作して筋腱を切断・切離する。

### 【使用上の注意】

#### <重要な基本的注意>

- 1)使用中の取扱に注意して下さい。手指、手袋等を切るおそれがあります。
- 2)軟部組織の切断・切離以外の目的で使用しないで下さい。また、折損や曲がりなどの原因になるので、使用時には慎重に扱って下さい。
- 3)使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等を、直ちに洗浄、除去して下さい。
- 4)塩素系及びヨウ素系の消毒剤は腐蝕の原因になるので、できるだけ使用を避けて下さい。それらが付着した場合は直ちに洗浄して下さい。

#### <不具合・有害事象>

本品の使用により、以下のような不具合・有害事象がおこる可能性があります。

- 1)本器の適切な洗浄、滅菌を行わなかったために起こる感染。
- 2)手術従事者の皮膚の裂傷やグローブの破れ。
- 3)必要以上の力を加えたことによる、刃先の破損や刃こぼれ。

### 【保管方法及び有効期間等】

- 1)保管にあたっては、洗浄をした後、腐蝕を防ぐために必ず乾燥して下さい。
- 2)滅菌済みのものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐために清潔な場所に保管するとともに、有効保管期間の管理をして下さい。

### 【保守・点検に係る事項】

- 1)使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織片などの汚れを除去し、感染防止のために洗浄して下さい。汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適切な濃度で使用して下さい。
- 2)洗浄装置(超音波洗浄器、ウォッシャー ディスインフェクター等)で洗浄する際には、刃先同士が接触して先端を破損することがないように注意して下さい。
- 3)洗剤の残留がないよう、十分にすすぎをして下さい。仕上げすすぎには、浄化水(ろ過、蒸留、脱イオン化水)を用いることを推奨します。
- 4)洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥して下さい。
- 5)洗浄後、汚れ、キズ、サビ、曲がりがないか、また刃こぼれなどの異常がないか、点検・確認して下さい。異常を認めた場合には、直ちに修理調整を行って下さい。
- 6)アルカリ性、または酸性の洗剤や消毒剤は、器具を腐蝕させるおそれがあるので、使用を避けて下さい。中性洗剤の使用を推奨します。また、金属たわし、クレンザー(磨き粉)等は、器具の表面が損傷するおそれがあるので、汚れ除去及び洗浄の際には使用しないで下さい。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社 根本商会